

静間小だより

～気づき 考え みんなで創り出す～ 令和6年 11月号

「気づき 考え みんなで創り出す」⑦ ～校内授業研究会 1学年・3学年の授業～



机の縦の長さは消しゴム何個分かな？

10月2日（水）、校内授業研究会を行いました。1年担任の木村教諭が授業を公開しました。教科は算数、単元は「くらべかた」でした。1年生は、日常生活と結びつけた授業を通して、「くらしと測定は密接につながっている」ことを実感することができていたと思います。算数を学ぶ意味や価値を実感することもできたのではないのでしょうか。

また、「こうしたい」「これを使いたい」「こうやればできる」という子どもの気づきから学びを創ることができていました。それは主体性を引き出すことにつながり、思考の活性につながっていました。この単元は、「考えの限界」に到達させることが大事です。「テープ」「ものさし」「ふでばこ」「ペン」「消しゴム」を使って「その何個分です。」と相手に伝えても伝わりません。「自分と相手が共通のものを基準にしていけないといけない。」という、今後の学びにもつながる一番大事な概念に行き着くためには、根気と本気が必要になる単元でもあります。だからこそ、子どもの「気づき」から学びを創り、子どもの主体性を引き出すことは何よりも大事だと思えます。そのことを確認させてもらった授業でした。



のりの重さは積み木何個分かな？

10月22日（火）にも校内授業研究会を行いました。3年担任の森山教諭が授業を公開しました。教科は算数、単元は「重さ」でした。3年生は、「てんびんを使って、のり・はさみ・ペンの重さを調べる方法を考える」という学習課題について、これまで学習してきた「長さくらべ」、「広さくらべ」、「かさくらべ」を振り返って、「重さも～の何個分ではかることができるかもしれない。」という考えで取り組みました。てんびんを使って、積み木何個で、のりやはさみやペンは釣り合うのかを、操作活動を通して見つけ出しました。重さの測定の際には、長さや広さ、かさと同様、「もとをそろえていかないと比べることはできない。」ことを、操作を通して気づいていくための授業となりました。

この授業で大切なポイントは、授業のはじまりに、「前の学習をていねいに振り返る」ことです。これにより、子どもの主体性が引き出され、学びの方向性、考える視点をもって学習に向かうことができると思えます。その他にも、大事な授業の視点はあります。授業後の協議会で、教職員みんなで意見交換を行い、授業のあり方について考えを広げ、深めていくことができました。



研究協議の様子

遠足～アクアスへ行ってきました



10月18日(金)、秋晴れのもと、1～4年生がアクアスへ遠足に行きました。出発前には、「みんなが楽しかったと言える遠足にしよう。自分だけではなく、みんなが楽しめる遠足をみんなで『気づき 考え 創り出す』ことを勉強しに遠足に行くんだよ。」という話をしました。遠足後、「遠足は楽しかったですか?」と聞くと、ほとんどの子どもが手を挙げてくれました。4年生は最上学年の役割を考え、行動していました。また、ルールやマナーも考えたり、縦割り班で声をかけ合って見学をしたり、公園で遊んだりしている姿に、「気づき 考え 創り出す」ことを意識しているなと思いました。楽しい遠足でした。

宿泊研修～三瓶青少年交流の家～



5年生が来年度の静間小学校を創っていきます。「気づき 考え みんなで創り出す」力がいっそう求められてきます。この宿泊研修は、その力を蓄えていく絶好の機会であると考えています。自分たちで時間や次にすべきことに気づき、考えて行動していかなければ、2日間の宿泊研修を進めていくことはできません。この宿泊研修は、最高学年としての力を高めたり、集団としての課題を見つけたりする場になったと思います。きっと来年度には、静間小学校の立派な頼れる6年生になってくれることと思います。

五十猛小学校、鳥井小学校、朝波小学校の子どもたちと活動することで、大きな集団で過ごす楽しさや喜びも実感できたと思います。2日間の宿泊研修の中で「できたことは何か」、「できたのはどうしてか」についてしっかりと振り返ってほしいと願っています。それが、この2日間を学校生活につなげていくための学びになります。

保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

連合音楽会



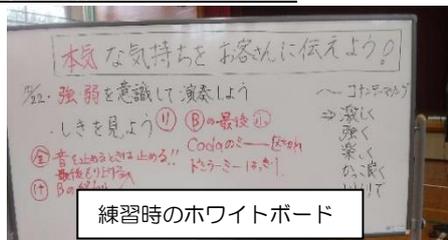
11月6日(水)、連合音楽会がありました。静間小学校は、4年生から6年生が参加し、リコーダー演奏と合奏を披露しました。今学期は「本気」で取り組んでいこうと話をしています。連合音楽会に向けた取組の中でも、「本気を伝えよう」というめあてのもと、みんなで気づいたことを出し合って合奏を創ってきました。こうした

取組の中で、力や心は磨かれます。とてもうれしい姿でした。個人練習や全体練習を繰り返し、子どもたちは「本気」の気持ちを高め、立派に発表しました。心癒される素敵な発表でした。

音楽主任を中心とした教職員、そして、子どもたちが、「本気」という言葉と「気づきからみんなで創



り出す」ことを大事に指導したり、学んだりしていることに、私は心打たれました。「ありがとう。」という気持ちでいっぱいです。本番までの取組の中で、子どもたちは、よい学びができました。



練習時のホワイトボード